



地域運営組織全国セミナーin青森

＜事例発表＞

奥津軽社中合同会社

～ 関係人口から始まった地域の組織 ～

2025/08/25

奥津軽社中合同会社

代表社員 周布 祐馬

- ✓ 関係人口が活動を始めるきっかけを作った
- ✓ 有志で ～まず、やってみる～ →「実行機能」からスタート
- ✓ 任意団体「おおかわだい好き大作戦」から「奥津輕社中合同会社」

今別町... どこ？



津軽半島の
さきっちょにあります



人口：2,054人 (2025/06/30時点)

高齢化率：59.96% ※県内TOP
(2025/02/01時点・青森県国民健康保険団体連合会調べ)



青森サーモン



A5ランク いまべつ牛



津軽海峡産 昆布

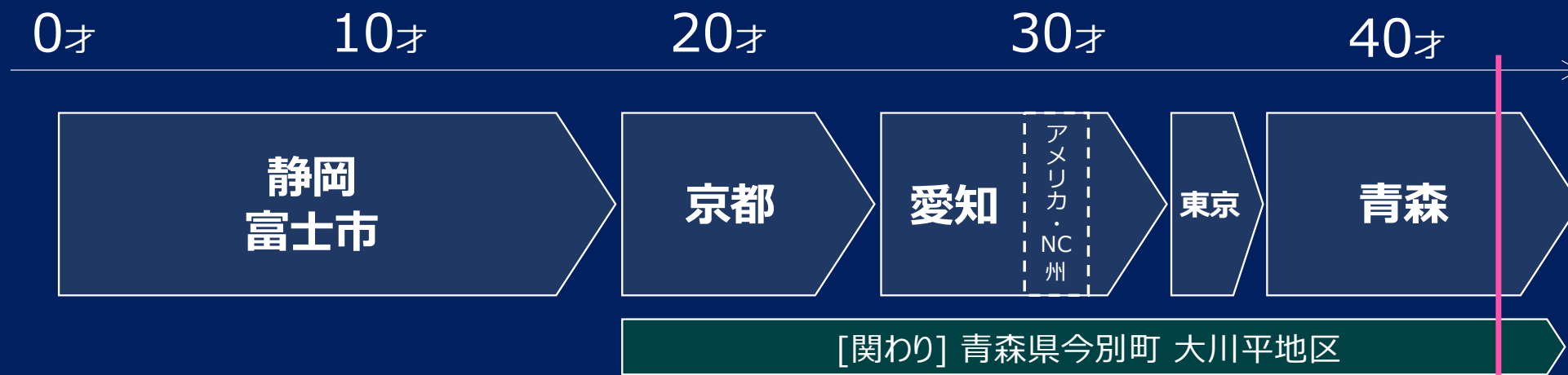


一球入魂かぼちゃ



周布祐馬（すふゆうま）

- 静岡県富士市出身
- 青森・今別町大川平地区に通い続けて20年
- 今別町地域プロジェクトマネージャー（2022.7.1～2025.6.30）
- 奥津軽社中合同会社（2022.8.1～）





あら
荒馬

青森県無形民俗文化財

荒馬（あらま）

荒馬は、田植えが終わり田の神が天に昇る時、農民が神に加護と感謝を表すための「神送り」「サナブリ」の行事と言われており、町内各地で継承されています。地区ごとに跳ね方に違いがあり、それぞれの地区名を取り「**今別荒馬**」「**大川平荒馬**」「**二股荒馬**」に大別されます。

『荒馬』と書いて「あらま」と読むこの祭りは、馬役の男性と手綱取りの女性が男女ペアとなり荒々しく跳ね回り、今別の短い夏を全力で駆け抜けるような激しい祭りです。

男女がペアで行われる伝統芸能は**全国的にも珍しく**、男女の息が合わないと綺麗に跳ることができないため、お互いを思いやる阿吽の呼吸が必要となります。ゆえに、**荒馬が縁で結婚**したカップルも多く、縁結びの側面を持ったお祭りでもあります。

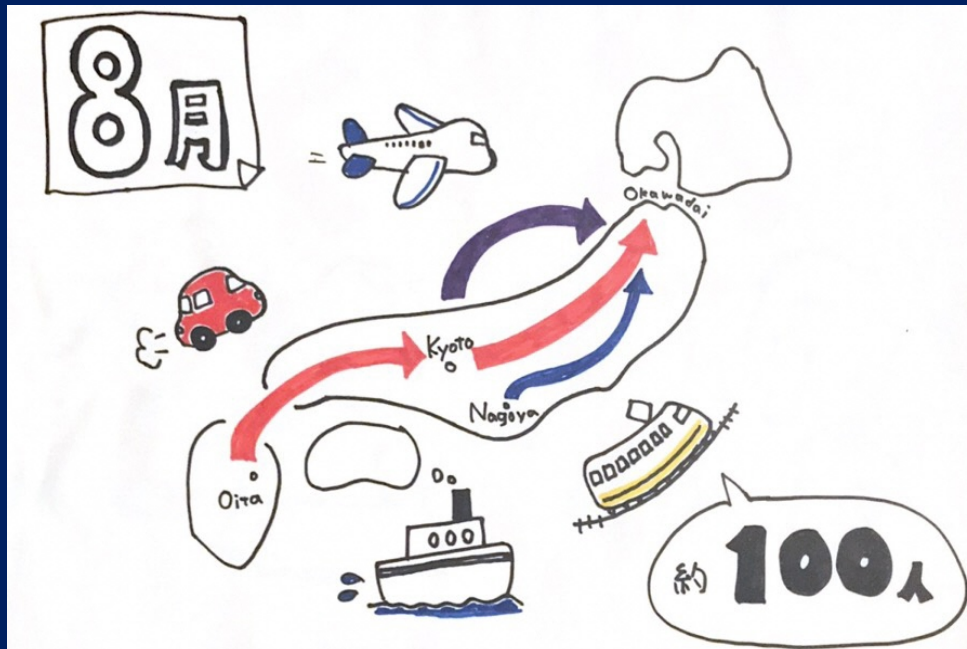
各団体間で相違はあるものの、跳人・荒馬・囃子・ねぶた灯籠の並びで運行され、各個口で跳ねながら町内を練り歩きます。毎年8月初旬には、特設会場にて各団体が一堂に会して合同運行が行われ、夜には花火大会も開催されるなど、今別の短い夏を華麗に彩っています。



出典：今別町HP

自己紹介 | すふが青森・今別に来た理由

- ・現在は、毎年夏になると全国から100名を超える大学生が今別(大川平)で荒馬に参加
- ・2002年当時、大学生はまだ数名。周布もその中のひとりとして今別・大川平に出会う



自己紹介 | すふが青森・今別に来た理由

- ・荒馬はもちろん、それ以上に地域の人々に惚れ込み、以来、毎年今別に“帰省”
- ・未来を担う子どもたちにも、この地域の人々と関わってほしい！

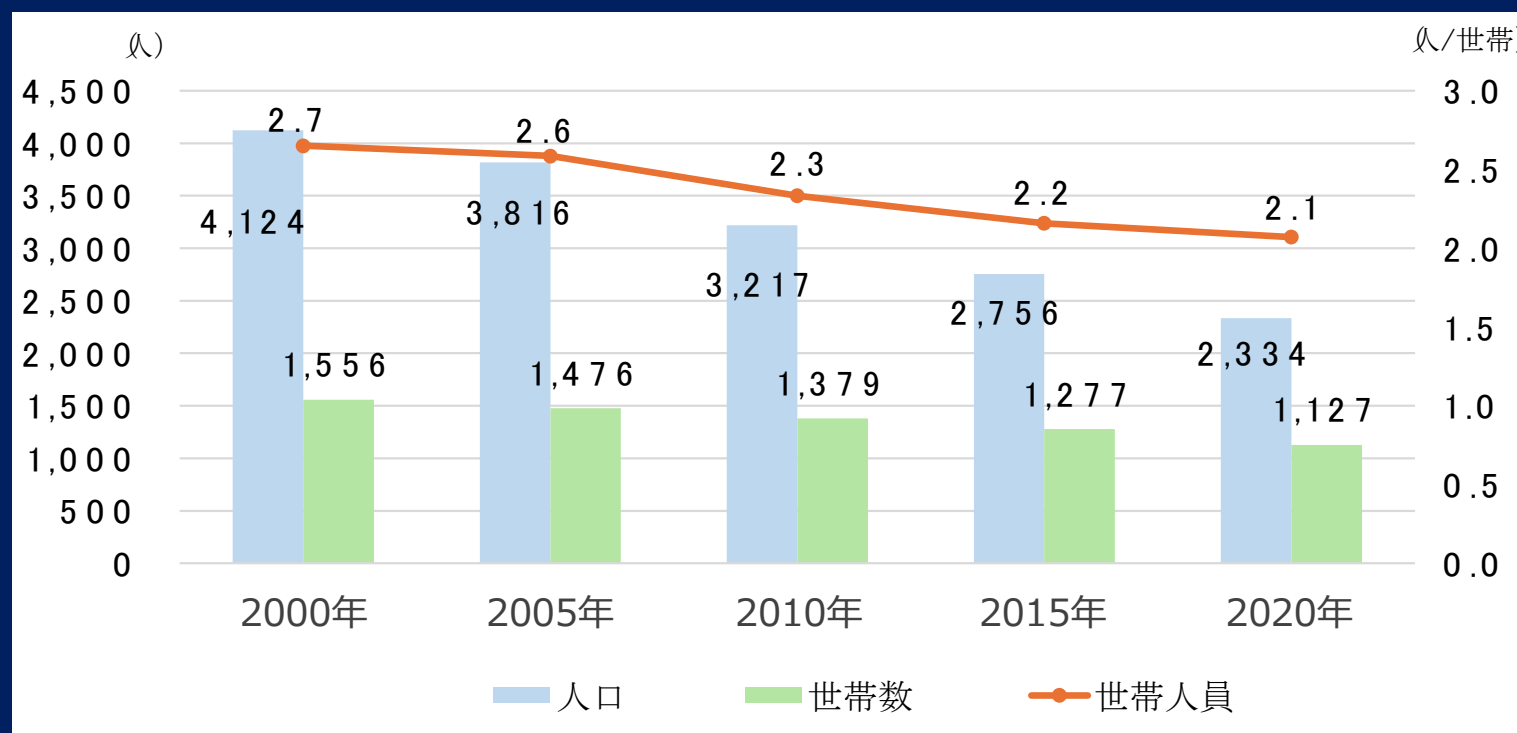


荒馬を通して出会ったあたたかい人々、
他に類を見ないユニークな地域文化



子どもたちに受け継ぎたい
・人と関わる楽しさ
・生き方の選択肢

- ・しかし、20年間で町の人口は急速に減少、商店は閉店、地域の活気がみるみる減った。
- ・このままでは、荒馬がなくなる、地域がなくなる・・・



人口・世帯数の推移

出典：第6次今別町総合計画
(資料：国勢調査・各年10/1現在)

これまで荒馬を通して交流してきた地域内外の人々が動き出した

「おおかわだい好き大作戦」

2020年、コロナの真っ只中、オンラインで活動開始・・・

「おおかわだい好き大作戦」

地域内メンバー

- ・大川平地区住民の有志
- ・町役場職員

地域外メンバー

- ・学生時代荒馬に関わった
卒業生の有志
- ・活動主旨に賛同した建築家

(名簿人数：18人)

メンバーとまでは言えないが、
時々手伝ってくれる人々



① 荒馬参加者の滞在拠点づくり

→ 受け入れてくれる地域の人々の負担を減らしたい



② おおかわだい好き新聞

→ コロナ禍でも地域の他の皆さんに活動内容を知ってもらえるように...



③ オンラインで全国各地とつながる

→ 夏以外の荒馬との関わりしろの1つとして



④ つながりを見える形で残したい

→ コーヒー好きが多い地域
メンバーの投票で味決定
地域外メンバーが
パッケージデザイン



**取り組みを地域の中から
引っばっていく人物がそろそろ必要・・・**

任意団体だと活動に制約が・・・

おおかわだい好き大作戦 から 奥津軽社中合同会社へ

- おおかわだい好き大作戦の想いを携え、2022年7月 地域プロジェクトマネージャー着任
- 同時期に奥津軽社中合同会社を設立し、活動基盤を強化



2022年7月 今別町地域プロジェクトマネージャー着任



2022年8月 奥津軽社中合同会社 設立

◎ 新たな取組を生み出す場づくり

住民×住民・住民×関係人口 の対話の場

Cafe & シェアキッチン

AJITO～愛菜館～

自然と「協議」も生まれはじめた・・・



◎ 資金調達・情報発信

▼ 商品開発（もの・こと）

- ・地域の味の事業承継
- ・オリジナルアイテム企画/開発



▼ 公共施設管理

宿泊施設：海峡の家ほろづき



▽ おおかわだい好き大作戦（これまで）

- ✓ 町には「主導」ではなく、「後押し」いただいた
- ✓ 住民のやりたいことを「引き出す」ことより、地域内外の人々の楽しいを「つむぐ」

▽ 奥津軽社中（現在）

- ✓ 人々が自然と集まり、少しオフィシャルに会話できる場・きっかけ
- ✓ 出入り自由な「ゆるい」関わり

▽ 今後の取り組み（これから）

- ✓ 会話から「協議」へ → 関わる人たちの「想い」の言語化



ご清聴ありがとうございました